



天野進吾が視る。語る。今日のできごと。まつりごと。

ホームページを見てください。http://www.amano-shingo.info

平成21年度県当初予算の概要

激しい与野党の攻防の末、何とか国の平成21年度的一般会計予算も3分の2条項をもって、総額88兆5,480億円(前年度比6.6%増)で成立したのであります。

静岡県議会の2月定例会も今日10日、総額1兆1,318億円(前年度比0.2%増)の当初予算及び知事提出の全議案が可決され終了いたしました。

今年的一般会計の内、歳出の項目を精査する時、先ず気がかりなのが投資的経費の大幅な減額であります。

平成10年の投資的経費5,055億円に比べ、本年度の1,814億円は実に36%にまで削減されてきたのであります。投資的経費の減少は一般的に道路や下水道など都市基盤の整備に使われるもので、この財源の減少は地域経済の低迷に繋がるものと云われております。

前年度に比べても10%もの大幅な削減となった要因は先ず国庫補助事業が大幅に軽減されたこと、更には空港整備や新東名アクセス道路など県内事業が一応完了したことによるものであります。

次に歳出全体の中で注目すべきは「公債費」の規模であります。計上された公債費1,685億円(前年度比4.5%増)は申し上げるまでもなく今年返済予定の借金であります。

因みに次のような試みをしてみます、返済額1,685億円を1年365日で割ってみます、

何と4億6,100万円とはじき出されます。即ち、土曜、日曜もなく、この膨大な借金のために毎日4億6,100万円を返済し続けることになるのであります。

21年度末の県債残高(通常債)の見込み額は1兆9,028億円であります。更に臨時債及び病院債を加えれば実に2兆3,212億円となり、明らかに近い将来、本県もまた「財政の硬直化」に苦しむ時を迎えるものと憂えるのであります。

しかし、見解の相違か、県当局は47都道府県中、公債費比率は下から9番目にあり杞憂であると自信を覗かせていたのであります。

喧々譁々の搭乗率保証

今議会最大の焦点となった「搭乗者保証」について、この顛末をご報告いたします。

正直云って私達はこの搭乗率保証については、県議会が開会されるまで全く知らされておりました。勿論、運行支援策として着陸料やナイトステイなどの料金の割引等については空港会社との交渉によるものと了承しておりましたが、今回提案された「搭乗率保証」については、将に「寝耳に水」であり、自民党県議団にあつても口角沫を飛ばす論戦が展開されたところであります。

搭乗率保証とは、乗客が目標数値に達しない場合に、事業者(ここでは県)が航空会社に損害賠償することです。

現在、わが国においてこの搭乗率保証が交わさ

れているのは能登空港とANK社の間など極く僅かな路線にしかありません。何故なら自由競争の社会にあつて事業の展開次第で赤字分を保証するという安全保障は馴染めないからであります。

今年度、私は企画空港委員会に所属しておりますので、この議案に対する責務は極めて重大であると考へ、自民党の議員総会においても率直に自身の考へを開陳、更に委員会の席上でも、ここに至るまでのJALと空港部の交渉の経緯、また予想される需要予測について、とことん当局を追及したところであります。

しかし、搭乗率保証の案件は、当初予算の中の「債務負担行為」であり、これを否定すれば同時に一般会計予算そのものを否定することとなります。そのため本会議において私達は県議会の総意として前代未聞ではありますが「附帯決議案」を採択してこの議案に賛成したのであります。

上程された「債務負担行為」とは、JALが計画する「静岡―福岡」の座席数が一日3便合計400席余りです。若し通算してボーダーラインの70%を切った場合には1席につき15,800円を保証するとの契約であります。仮に搭乗率が69%になった場合即ち1%は4人ですから、4×15,800円×30日=1,896,000円、即ち1ヶ月で凡そ200万円、若し搭乗率が60%となった時には毎月2,000万円をJAL側に支払わねばならないのであります。

率直に云って静岡空港から毎日300人もの人々が航空機を利用して福岡を訪れるでしょうか、甚だ疑問であり、その時の県民の罵声を私は今から心配しているのであります。

私からもお願い致します、九州への旅は快適な日本航空でお出掛け下さい。

消滅していった町名

元禄5年の「駿府町数並家人数覚書帳」によれば、駿府96カ町のうち現在もその当時の地名で表示されている町は僅かに41カ町に過ぎません。(市の文化財課の調べ)

平成3年の高校総体の際、私は機会あつて皇太子殿下一行と昼食を共にする榮に浴しました。食事が終わってティータイムの折、侍従が本市の地図を見ながら私のところに来るや、「この市はなんと職業の名を冠した地名が多いことでしょう。」と云う。幸い歴史については些か自信がありましたので、この町の成り立ちや今川、徳川がもたらした町の由来など掻い摘んで説明させていただきました。殊に本市の中心市街地は職業を町名にした所が極めて多いのであります。それ

故に町名を見れば往時の面影を推し量ることは充分可能でしょう。

しかし、表題に書きました通り、明治以降、その多くが消えていきましたが、以下抹消された代表的な職業の地名を列挙してみます。

御器屋町(西草深)、毛皮町、院内町(横田町)、猿屋町(横田町)、台所町(鷹匠町)、上魚町(金座町)・中魚町(呉服町)・下魚町(常盤2丁目)、下桶屋町(昭和町)など、また駿府は東海道53次の代表的宿場町でもありますので、鋳物師町(横田町)、鍛冶町(昭和町)などの地名が消えてしまったことは、誠に残念であります。

この中で、特筆すべきは鍛冶町や下桶屋町そして宝町が一緒になって昭和20年、「昭和町」と名付けられました。

「鍛冶町」は家康が浜松から鍛冶師の長、岡村兼法を招き、ここに住まわせた処からこの地名が生れたのでした。通常「鍛冶町」は伝馬に関わる職業ですから、鋳物師と共に伝馬町に付随して存在しておりますが、駿府の場合は些か事情が異なり、ために伝馬町とは離れた場所に鍛冶町はありました。

また腐ると悪臭を発することから「魚屋」の出店は3ヶ所に限り許可を与えました。

変わった町名の「猿屋」「院内」は共にお城での年中行事に利用された「猿回し」と「祈禱」を担当した職業でした。

以上、抹消された地名について説明しましたが、これからも区画整理や住居表示の改正に伴って、町名の変更が行われるでしょうが、長い歴史の中に生きてきた地名については是非残して頂きたいと願う次第であります。

一寸一言 私の雑記帳から

依頼されて、郷土史を講演する折、必ずつき加える材料に「静岡」の地名の由来があります。「静岡」を横文字で表記するなら、「Silent-hill」、即ち「静かな岡」を意味し、多くの市民はその地名に大変納得しているのであります。

しかし、実は「岡」という漢字の持つ意味は「hill丘」というより「傍ら」を表

しているのであります。

例えば「岡目八目」、囲碁の対局を脇で見ている者は勝手に八目先まで読んでいる状況を表現している言葉ですが、この「岡目」とは「傍目」であり、主人公ではない脇役を云います。

同様に「岡惚れ」も他人の恋人に横恋慕することを表し、また死語になってしまいましたが「岡場所」も、江戸時代、幕府で公認していない深川や根津のような「脇」にある遊郭を表現した言葉であります。更に「岡引き」も町同心の手先となって

右往左往している下っ端の目明しをいうのでした。

このように「岡」という漢字は「苗字」や「地名」には多用されていますが普通名詞には殆ど使用されておりません。

「静岡」の地名は誰が考えても「傍らで静かにしている」という意味であります。

さて、昔から「待てば海路の日和あり」が本市の気風でありましたが、愈々厳しい都市環境の中であれば、時に傍らから脱して、声高に自己主張すべき機会かと思ふ次第であります。

大人が楽しむ雛祭り

3月3日は桃の節句。女の子の健やかな成長を祝う雛祭りも、最近では少し様変わりしているようです。

少子化で、初節句のお雛様を描える家庭は以前より少なくなっていますが、反面、吊るし雛やインテリアとしての人形で、お雛様を楽しむ大人の女性が増えています。きらびやかなお雛様への憧れは、女性にとっていつまでも変わらないものなのでしょう。

また、遠い昔に作られたアンティークなお雛様も、この時期に各地で展示されて人気を集めています。

古民家などに飾られた古いお雛様には独特の雰囲気があり、懐かしさとあたたかなぬくもりを感じさせてくれます。

さらに、静岡県中部地区には「天神様」という男の子のための大きなお雛様もあります。これも最近では飾る家庭が減ってきているようですが、雛人形の産地静岡の貴重な文化として後世に受け継いでいきたいものです。雛祭りシーズンの今、あらためて様々なお雛様の魅力を見直してみたいかがですか。

天野進吾と創る文化祭

日時：平成21年5月28日(木)

午後6時開場 6時30分開演

会場：静岡市民文化会館 中ホール

会費：5,000円